道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

篠塚ひろ子さんから昨年3月に亡くなったプリースト篠塚建次郎さんの遺品（バイクジャケット）を頂きました。「息子のバイクに乗るつもりだったのかな？」と。嬉しい記事掲載のご縁♪

三好礼子
エッセイスト・元国際ラリースト
～ http://www.fairytale.jp/ ～

大船渡の山林火災発生から11日目。先ほど鎮圧のニュースが流れ、安堵しました。大船渡在住の知り合いに災害現場に強い医師（ライダー）や元番組制作者（ランナー）がいたので、彼らの発信するSNSを頻繁に見ていましたが、2千人の消防団をはじめとする現場で動いていた方々には感謝しかありません。鎮火を経て、災害対策（個人の生活や町のインフラや自然回復などの復興）がどのようになるのか、これからも注視したいと思っています。それにしても、ここまで被害が拡大するとは。同じ頃、近くの上田市や大月市でも大規模の山火事がありましたが、雨が少なく乾燥状態はどこも同様であり、まさに対岸の火事ではありません。近くで起きたらどうするのか、改めて考えておかなくては…。

さて、話は変わります。今や私の軸とも言うべきライダーズカフェですが、この3月で丸10年が経ち、11年目に突入しました。静岡の朝霧高原から引っ越してきた翌年にヤギチーズの加工場として借りようとしたら、あまりに厨房が立派だったので、思わず？カフェにしてしまったのですが、当初は夫が独りで采配していました。その時私が夢中だったのは、国内外のロングのトレイルランニングレース。オープンした2015年は、なんと32戦も出ていたので、軽く200日は不在。身も心もトレランに捧げていた時なので、このエッセイに「カフェをやっています」という文章が登場したのは、半年以上も後でした。やってくる人との会話が楽しくて仕方ないというのは今と同じなのですが、「なるべく毎日居よう」と思ったのは、2016年あたりから口コミで多くの人が来るようになったこと。そして夫だけでは到底手が足りず、かといって人を雇ってというのとも違うなという私の直感からでした。同時期に箱根の山々を激走した後の温泉で湯当たりして倒れたら頭を打ち、翌週の雪掻きでぎっくり腰になってトレランレースのDNS（スタートできず）が続き、同時にバイクの仕事がどんどん増え、スライド方式でライダーへ戻っていく私がいました。それがあまりに自然だったので、神様のお告げなのかな～と思ったり。

「会いたいな」「食べたいな」と思ったら、北海道や九州からでも走ってきてしまうライダーたち。旅の話をつまみにカフェで一休みすれば、また元気に走り出していきます。年齢に関係なく、とにかくバイクが好きで、走れば生きる力が湧いてくる彼らと向き合って言葉を交わすことで、私もヒントを頂いたり、パワーアップしたりなのですから、なんて嬉しい空間なのでしょう。そんな「お休み処」がやりたくなったのは、30歳後半でした。景色のいいところでぼーっと休んで英気を養って、また笑顔で人生を歩き出せるような場所を作りたくて、「それはどこでどんなカタチ？」と奔走していました。42歳の時のパリ・ダカールラリーの時に、「それはカタチじゃなくて人の（体温と心の）温かさ」と気付かされる出来事があり、原点に戻されます。たぶんそれは、日本一周をした18歳の時に受けた様々な温かさに近いもの。あの時、大人になっていつか恩返しをしたいと思っていたけれど、このカフェという場所がそれを叶えてくれている気がします。

四国遍路をしている時に、親しい人との別れや仕事での困難などみんな色々なことがあって旅しているのだなと思いましたが、カフェにいても同じようなことを感じます。何もない人などはおらず、どんなに幸せそうな人でもなんらかの悩みや葛藤があるもの。カフェを通過することで、振動が起きて軽くなったり解決の糸口が見えたり、いろんな人との出会いで道が開けたりしたら素敵だなと思います。

お客さんと共に作り上げた10年は、あっという間でした。こんなに楽しいのだから、希望は「1日でも長く続けたい」ですが、先のことは私にも全く分かりません。むしろ、毎日を笑顔で過ごすことに気持ちを注ぎたいと思います。福島を旅した時に教えてもらった言葉に、「までい」というのがあります。「丁寧にじっくりと」「手間暇惜しまず」という方言ですが、おっちょこちょいの私でもそんな風に生きられたら最高だなと思っています。

28年目のリターン。スクーターで3年慣らし、新車のW230がやってきたばかりの久代さん。まずは「安房トンネル（126cc以上可能）を抜けたい！」そう。こんな笑顔に会えるのが醍醐味。

雪なしだけれど心底寒かった今年の四賀地区。SSTRツーリング参加者やスノボ仲間など、近隣のお馴染みの顔で溢れる冬場。

バイク談義が尽きないお休み処。大型バイク販売店並みに新旧バイクがやってくるので、居ながらにして情報通に♪

河川敷コースでオフロード練習を終えたたずちゃん（右・介護関係）とスミオちゃん（左・ホテル勤務）。二人ともエンデューロレースに夢中。春は楽しいね。

昨年は鈴鹿8時間耐久レースを完走し、夢の海外耐久レースへの第一歩を踏み出した「信州Re:N」チーム。カフェでイベントやるとパワー頂くと言ってくださり、年に何度か集結！　今年も楽しみ♪

グッズを10周年記念バージョンにしてみました。一言でいうと、やっぱり「アリガトウ」。場所を提供しているつもりが、パワー貰っているのはコチラだったりします。

都市計画の中の街路㊻

アーケード空間の賑わい（その3）

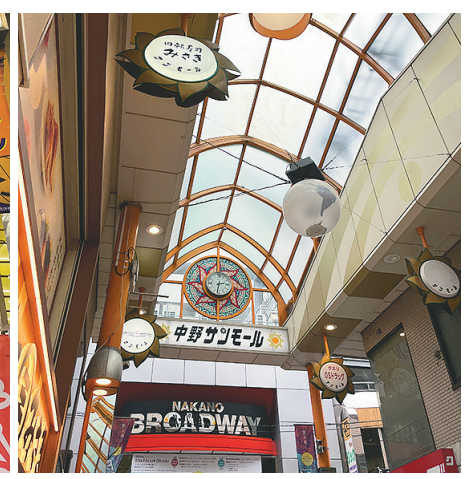
東洋大学国際学部・准教授
志摩憲寿

これまでに東京23区内27商店街のアーケード商店街を対象として、アーケード空間における設えの様子を見てきました。アーケード空間には、照明や統一看板を中心に、バナーや横断幕（のぼり）、時計、マスコット、七夕などの季節の飾りなどの設えが備えられ、また、防犯カメラも少なからず見られました。さらに、路面のタイルもまたアーケード空間の賑わいを添える備えとして注目してきました。それでは、これらの設えを総じてみると、アーケード空間の賑わいはどう評価することができるでしょうか。賑わいの指標として統一看板やバナー、横断幕（のぼり）を中心とした「広告性」、防犯カメラや柱を中心とした「安全性」、さらに、バナーや横断幕の「自由度」などにも着目してランク化してみたいと思います。

まずは「広告性」から。「広告性」は、アーケード空間で最も目立つと言ってもよい設えである、統一看板や横断幕（のぼり）、季節の飾りといった広告性の高い設えがどのくらいみられるかをみてみました。具体的には、商店街の延長が異なることを考え合わせて、各設えについて単位長さ（ここでは10メートル）あたりの個数から計算しています。あまりばらつきのない結果で僅差にはなりましたが、「広告性」が最も高い商店街は蒲田西口商店街、これに中野サンモール商店街が続き、さらに立石仲見世商店街、立石駅通り商店街、浅草ひさご通り商店街となりました。蒲田西口商店街はバナーの数がとりわけ多くみられ、調査時にはハロウィンで飾られていました。また、中野サンモール商店街では、その名の通り、太陽の形をあしらった統一看板や時計などの設えが印象的ですが、調査時にはイベント「ART EXHIBITION」のぼりが掲出されていました。この「広告性」は、全体的にみると僅差でしたから、アーケード空間内の設えそのものによる要因に加えて、季節的なイベントなどのプラスアルファを掲出することでアーケード空間の賑わいが高まるとも伺えるでしょう。

それでは、「安全性」や「自由度」から見ると各アーケード商店街はどのように捉えられるでしょうか。引き続き賑わい評価をご紹介したいと思います。

参考文献　平野早紀（2023）「全蓋式アーケード商店街のにぎわいに関する研究：東京23区内全24アーケード商店街を事例として」、2022年度東洋大学国際地域学科卒業論文



「広告性」の高い蒲田西口商店街（左）と中野サンモール商店街（右）

道路交通情報

◇道路緊急ダイヤル　#9910
◇NEXCO東日本　http://www.e-nexco.co.jp/
◇NEXCO中日本　http://www.c-nexco.co.jp/
◇NEXCO西日本　http://www.w-nexco.co.jp/
◇首都高速　http://www.shutoko.jp/
◇阪神高速　http://www.hanshin-exp.co.jp/
◇本四高速　http://www.jb-honshi.co.jp/
◇日本道路交通情報センター　http://www.jartic.or.jp/

道路ニュースの宛名変更・発送停止について

○**宛名変更**：《「No.0000」または「U-00000」に記載されている番号》、《変更後の住所》、《「社名」または「氏名」》、《宛名変更》を記載し、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。
○**発送停止**：《「No.0000」または「U-00000」に記載されている番号》、《「社名」または「氏名」》、《発送停止》を記載し、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。

【宛名記載例】
〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-3-1　尚友会館6F
全国道路利用者会議　様
No.0000　または　**U-00000**　1部

FAX　03-3501-5612
E-mail　the_road_news@road-jhuc.jp